

■ 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（設定日：2007年12月14日）
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、アセアン加盟国の取引所上場株式に投資し、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 <b>アセアンマザーファンド</b> アセアン加盟国の取引所に上場している株式
当ファンドの運用方法	■主としてアセアン加盟国の取引所に上場している株式に投資し、信託財産の成長を目指して運用を行います。 ■銘柄選定にあたっては、各国・地域、各業種等において競争力があり、かつ財務健全性を備えた優良銘柄を中心に厳選し、投資します。 ■外貨建資産については、原則として、対円で為替ヘッジを行いません。
組入制限	当ファンド ■株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 <b>アセアンマザーファンド</b> ■株式への投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	■年2回（原則として毎年6月および12月の13日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の配当等収益と有価証券売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

# アセアン成長国株 ファンド

## 【運用報告書（全体版）】

（2018年12月14日から2019年6月13日まで）

第 **23** 期  
決算日 2019年6月13日

### 受益者の皆さまへ

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、アセアン加盟国の取引所上場株式に投資し、信託財産の成長を目指して運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

 **三井住友DSアセットマネジメント**  
(旧:三井住友アセットマネジメント)  
〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

### ■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

### ■当運用報告書についてのお問い合わせ

フリーダイヤル 0120-88-2976  
受付時間:午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

## アセアン成長国株ファンド

### ■ 最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			( 参 考 指 数 ) MSCI 東南アジアインデックス		株 式 組 入 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 配	込 金 騰 落 中 率	(円ベース)	期 騰 落 中 率		
	円	円	%		%	%	百万円
19期(2017年6月13日)	9,136	0	8.3	102.75	6.8	97.4	1,239
20期(2017年12月13日)	10,009	120	10.9	114.25	11.2	93.6	1,312
21期(2018年6月13日)	9,879	0	△ 1.3	110.17	△ 3.6	89.7	1,210
22期(2018年12月13日)	9,350	0	△ 5.4	104.27	△ 5.4	91.1	1,108
23期(2019年6月13日)	9,535	0	2.0	104.54	0.3	90.4	1,084

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※MSCI 東南アジアインデックス (円ベース) は、前日の指数を当日の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので、設定時を100として2019年6月13日現在知りえた情報にもとづき指数化した当社計算値です。

※MSCI 東南アジアインデックスの著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

### ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		( 参 考 指 数 ) MSCI 東南アジアインデックス		株 式 組 入 率
	騰 落 率	騰 落 率	(円ベース)	騰 落 率	
(期 首)	円	%		%	%
2018年12月13日	9,350	—	104.27	—	91.1
12月末	8,986	△3.9	101.24	△2.9	89.9
2019年1月末	9,333	△0.2	105.64	1.3	88.5
2月末	9,816	5.0	108.99	4.5	91.8
3月末	9,664	3.4	106.38	2.0	91.9
4月末	9,857	5.4	108.95	4.5	91.5
5月末	9,291	△0.6	101.49	△2.7	91.2
(期 末)					
2019年6月13日	9,535	2.0	104.54	0.3	90.4

※騰落率は期首比です。

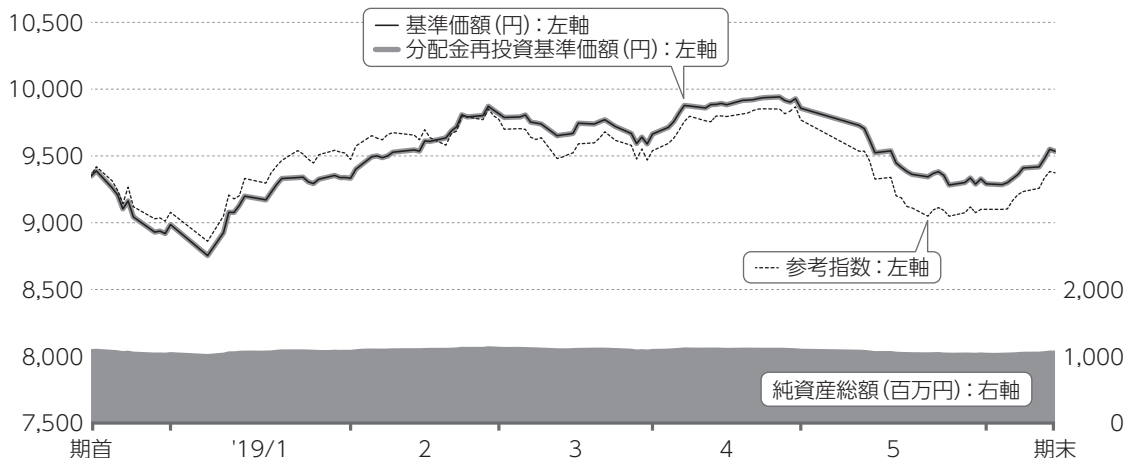
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

# 1 運用経過

基準価額等の推移について(2018年12月14日から2019年6月13日まで)

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	9,350円
期末	9,535円 (分配金0円(税引前)込み)
騰落率	+2.0% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの参考指数は、MSC I 東南アジアインデックス(円ベース)です。

※MSC I 東南アジアインデックスの著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

### 基準価額の主な変動要因(2018年12月14日から2019年6月13日まで)

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、アセアン加盟国の取引所上場株式に投資しました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いませんでした。

#### 上昇要因

- 米中の貿易協議の進展期待や米国の利上げ観測の後退などから、期を通してみれば、マレーシア、ベトナムを除くアセアン株式市場が上昇したこと

#### 下落要因

- 期を通してみれば、円がアセアン通貨(タイバーツを除く)に対して上昇したこと

### 組入れファンドの状況

組入れファンド	投資資産	騰落率	期末組入比率
アセアンマザーファンド	外国株式	+2.8%	97.5%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

投資環境について(2018年12月14日から2019年6月13日まで)

当期のアセアン株式市場(現地通貨建て)はマレーシア、ベトナムが小幅に下落しましたが、その他市場は上昇しました。為替市場は、横ばいだったタイバーツを除き、アセアン通貨は対円で下落しました。

### アセアン株式市場

期初から12月末にかけては、米中通商協議の深刻化懸念が生じ、米国株式市場など海外市場は下落しました。アセアン市場は、タイ、ベトナムが下落する一方、マレーシア、インドネシアは上昇するなどまちまちな動きとなりました。その後は、米中協議の進展期待などから世界の株式市場が反発し、アセアン市場も各市場の要因などでまちまちな動きを見せる局面はあったものの、概ね堅調に推移しました。

5月上旬にトランプ米大統領が中国からの2,000億ドル相当の輸入品に対する関税引上げを発表し、その後中国の大手通信機器製造会社である華為技術(ファーウェイ)に対する部品供給の禁止措置も発表されたことにより、米中間の対立懸念が強まりました。アセアン株式市場も大きく下落しましたが、期末にかけて米国での利下げ期待が強まり、多くの市場が反発しました。

当期の市場の動きをMSCI東南アジアインデックス(米ドルベース)で見ると、期首に比べて4.6%上昇しました。

### 為替市場

期を通じて、円、アセアン通貨ともに、米中貿易協議の動向や米国の金融政策に対する思惑などに左右される展開となりました。また、各国の経済状況や選挙を含む政治状況などを反映し、まちまちな動きを示す局面もありましたが、期を通してみれば、米ドルに対して円および、多くのアセアン通貨が上昇しました。円の上昇率が多くのアセアン通貨を上回ったため、横ばいとなったタイバーツを除き、円はその他のアセアン通貨に対して上昇しました。

当期のシンガポールドル・円は、期首82円63銭から期末79円39銭と3円24銭のシンガポールドル安・円高となりました。マレーシアリングgit・円は、期首27円10銭から期末26円06銭と1円04銭のマレーシアリングgit安・円高となりました。一方、タイバーツ・円は、期首3円47銭から期末3円47銭と横ばいとなりました。

### ポートフォリオについて(2018年12月14日から2019年6月13日まで)

#### 当ファンド

当ファンドは、「アセアンマザーファンド」への投資を通じて、アセアン加盟国の取引所上場株式に投資しました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いませんでした。

#### アセアンマザーファンド

##### ●株式組入比率

株式組入比率は、期を通じて高位を維持しました。

##### ●国別配分

期を通じて、堅調な経済成長が期待されるベトナム、フィリピンを強気と判断しました。

##### ●個別銘柄

主として、個別銘柄の業績動向や見通し変更による銘柄入替えを行いました。株価が大きく上昇したシンガポールの畜産・食肉加工会社のジャプファやフィリピン不動産会社のビスタ・ランドなどの利益確定売りを行いました。一方、消費者の所得水準増加の恩恵が大きいと判断し、フィリピンのレストランチェーンのシェーキーズ・ピッツアを組み入れたほか、観光需要の拡大が継続する見込み

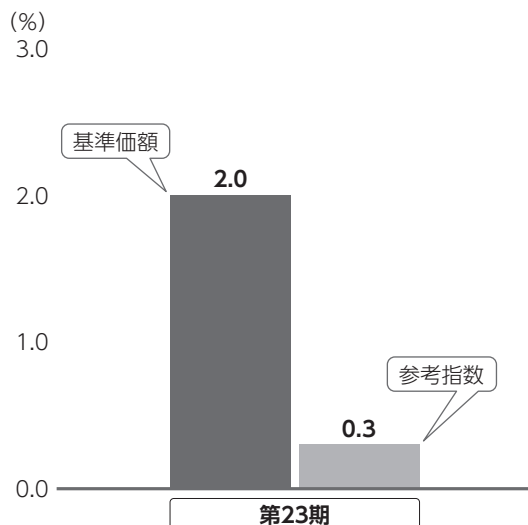
からタイの空港運営会社のタイ空港公社を購入しました。

##### ●ポートフォリオの特性

競争力、財務健全性、優れたコーポレート・ガバナンス(企業統治)を備えた銘柄を厳選しました。

## ベンチマークとの差異について(2018年12月14日から2019年6月13日まで)

## 基準価額と参考指数の対比(騰落率)



※基準価額は分配金再投資ベース

当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてMSCI 東南アジアインデックス(円ベース)を設けています。左のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

## 分配金について(2018年12月14日から2019年6月13日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第23期
当期分配金	—
(対基準価額比率)	(—%)
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,175

当期の分配は、基準価額水準等を勘案し、見送りとしたしました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。  
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

## 2 今後の運用方針

### 当ファンド

「アセアンマザーファンド」を通じた運用を継続します。マザーファンドの組入比率は高位に保つ予定です。

### アセアンマザーファンド

アセアン諸国の経済は、中期的に内需に支えられて底堅い成長が予想されます。また、いくつかの国ではインフレ率の落ち着きや米国の金融政策の引上げ停止を受けて、金融緩和に転じており、成長を後押ししています。

米中の対立が長期化する可能性が高く先行き不透明感が強いものの、アセアン域内で

は内需拡大や公共投資の拡大により、当面、経済は良好な状況が続くと見込んでいます。また、米中对立の影響で、ベトナムなど一部の国には中国からの生産拠点のシフトなども見られます。

アセアン域内の株式市場は堅調なファンダメンタルズ(基礎的条件)と、割高感のないバリュエーション(価格評価)を背景に、中長期的な相場上昇余地は大きいと考えます。

国別の配分については、相対的にベトナム、フィリピン、インドネシアなどを優位と判断しています。

銘柄選択においては、競争力、財務健全性、優れたコーポレート・ガバナンスを備えた銘柄を厳選します。

## 3 お知らせ

### 合併について

三井住友アセットマネジメント株式会社は、2019年4月1日に大和住銀投信投資顧問株式会社と合併し、商号を三井住友DSアセットマネジメント株式会社に変更しました。

### 約款変更について

委託会社の合併に伴う商号変更および電子公告アドレスの変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。(適用日：2019年4月1日)



## アセアン成長国株ファンド

### ■ 1万口当たりの費用明細 (2018年12月14日から2019年6月13日まで)

項 目	金 額	比 率	項 目 の 概 要
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	88円 ( 43 ) ( 41 ) ( 4 )	0.932% (0.458) (0.431) (0.043)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数) 投信会社：ファンド運用の指図等の対価 販売会社：交付運用報告書等各种資料の送付、口内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 ) ( 投 資 信 託 証 券 )	9 ( 9 ) ( 1 )	0.098 (0.092) (0.007)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 ) ( 投 資 信 託 証 券 )	2 ( 2 ) ( 0 )	0.026 (0.025) (0.001)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( 監 査 費 用 ) ( そ の 他 )	20 ( 20 ) ( 0 ) ( 0 )	0.216 (0.212) (0.003) (0.001)	その他費用＝期中のその他費用/期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送回金・資産の移転等に要する費用 監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用 そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	119	1.272	

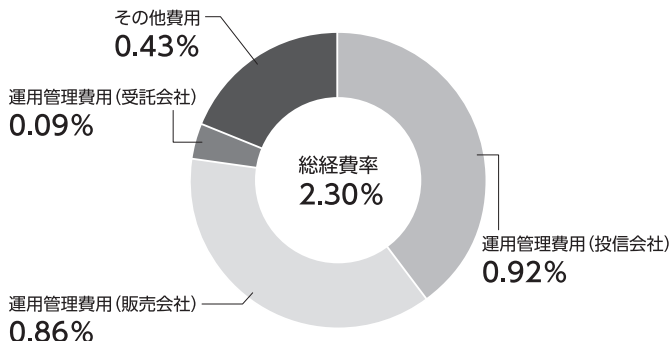
期中の平均基準価額は9,491円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。  
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

### ■ 参考情報 総経比率（年率換算）



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値（小数点以下第3位を四捨五入）です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経比率（年率換算）は2.30%です。

## アセアン成長国株ファンド

### ■ 当期中の売買及び取引の状況 (2018年12月14日から2019年6月13日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アセアンマザーファンド	33,527	45,000	36,786	54,000

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

### ■ 親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2018年12月14日から2019年6月13日まで)

項 目	当 期	
	アセアンマザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	338,072千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	996,203千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.33	

※単位未満は切捨て。

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末(ただし、決算日の属する月については決算日)のわが国の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

### ■ 利害関係人との取引状況等 (2018年12月14日から2019年6月13日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

### ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2018年12月14日から2019年6月13日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

### ■ 組入れ資産の明細 (2019年6月13日現在)

親投資信託残高

種 類	期首(前期末)		期 末	
	口 数	金 額	口 数	評 価 額
	千口	千円	千口	千円
アセアンマザーファンド	734,773		731,513	1,057,695

※アセアンマザーファンドの期末の受益権総口数は731,513千口です。

※単位未満は切捨て。

### ■ 投資信託財産の構成

(2019年6月13日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アセアンマザーファンド	1,057,695	96.6
コーポレートローン等、その他	37,345	3.4
投資信託財産総額	1,095,040	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※アセアンマザーファンドにおいて、期末における外貨建資産(1,057,593千円)の投資信託財産総額(1,057,715千円)に対する比率は100.0%です。

※外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1米ドル=108.51円、1シンガポールドル=79.39円、1マレーシアリンギット=26.06円、1タイバツ=3.47円、1フィリピンペソ=2.09円、100インドネシアルピア=0.77円、100ベトナムドン=0.47円です。

## アセアン成長国株ファンド

### ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年6月13日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	1,095,040,135円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	37,344,221
アセアンマザーファンド(評価額)	1,057,695,914
(B) 負 債	10,457,882
未 払 解 約 金	164,178
未 払 信 託 報 酬	10,256,637
未 払 利 息	102
そ の 他 未 払 費 用	36,965
(C) 純 資 産 総 額 ( A - B )	1,084,582,253
元 本	1,137,422,826
次 期 繰 越 損 益 金	△ 52,840,573
(D) 受 益 権 総 口 数	1,137,422,826口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 ( C / D )	9,535円

※当期における期首元本額1,185,309,184円、期中追加設定元本額42,064,788円、期中一部解約元本額89,951,146円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

### ■ 損益の状況

(自2018年12月14日 至2019年6月13日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 7,395円
支 払 利 息	△ 7,395
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	30,707,650
売 買 益	33,250,830
売 買 損	△ 2,543,180
(C) 信 託 報 酬 等	△ 10,300,210
(D) 当 期 損 益 金 ( A + B + C )	20,400,045
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 53,805,045
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 19,435,573
( 配 当 等 相 当 額 )	( 169,202,671 )
( 売 買 損 益 相 当 額 )	( △188,638,244 )
(G) 計 ( D + E + F )	△ 52,840,573
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 ( G + H )	△ 52,840,573
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 19,435,573
( 配 当 等 相 当 額 )	( 169,332,330 )
( 売 買 損 益 相 当 額 )	( △188,767,903 )
分 配 準 備 積 立 金	78,064,886
繰 越 損 益 金	△111,469,886

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※当ファンドにおいて「アセアンマザーファンド」の運用の指図にかかる権限の一部委託に要する費用のうち、当ファンドに相当する費用は2,734,762円です。(2018年12月14日～2019年6月13日、当社計算値)

※期末における、費用控除後の配当等収益(13,968,876円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(169,332,330円)および分配準備積立金(64,096,010円)より分配可能額は247,397,216円(1万口当たり2,175円)ですが、分配は行っておりません。

### ■ 分配金のお知らせ

1 万 口 当 た り 分 配 金 ( 税 引 前 )	当 期
	- 円

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

# アセアンマザーファンド

第11期 (2017年7月13日から2018年7月12日まで)

信託期間	無期限 (設定日: 2007年9月20日)
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>主としてアセアン加盟国の取引所上場株式 (それに準ずるものを含みます。) に投資し、信託財産の成長を目指して運用を行います。</li> <li>運用にあたっては、運用の指図に関する権限の一部をスミトモ ミツイ アセットマネジメント (ホンコン) リミテッドに委託します。</li> <li>外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。</li> </ul>

## ■ 最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		(参 考 指 数) MSCI 東南アジアインデックス (円ベース)		株 式 組 入 率 比	純 資 産 額 総
	期 騰 落 率	中 率	期 騰 落 率	中 率		
7 期 (2014年7月14日)	円	%		%	%	百万円
8 期 (2015年7月13日)	13,528	11.9	114.78	4.1	97.7	1,653
9 期 (2016年7月12日)	14,421	6.6	119.79	4.4	98.1	1,530
10 期 (2017年7月12日)	11,462	△20.5	94.69	△21.0	93.6	1,083
11 期 (2018年7月12日)	13,557	18.3	110.60	16.8	97.6	1,255
	14,063	3.7	109.31	△ 1.2	92.5	1,125

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※MSCI 東南アジアインデックス (円ベース) は、前日の指数を当日の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので、設定時を100として2018年7月12日現在知れた情報にもとづき指数化した当社計算値です。

※MSCI 東南アジアインデックスの著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

## ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) MSCI 東南アジアインデックス (円ベース)		株 式 組 入 率 比
	騰 落 率	率	騰 落 率	率	
(期 首) 2017年7月12日	円	%		%	%
7 月末	13,557	—	110.60	—	97.6
8 月末	13,583	0.2	110.88	0.3	97.4
9 月末	13,568	0.1	110.69	0.1	95.2
10 月末	13,820	1.9	112.83	2.0	97.3
11 月末	14,177	4.6	115.87	4.8	94.8
12 月末	14,609	7.8	117.87	6.6	98.6
2018年1 月末	15,119	11.5	122.25	10.5	96.1
2 月末	15,524	14.5	125.19	13.2	98.5
3 月末	15,287	12.8	122.71	11.0	97.1
4 月末	14,807	9.2	116.98	5.8	96.0
5 月末	15,005	10.7	119.31	7.9	95.9
6 月末	14,391	6.2	112.85	2.0	95.6
(期 末) 2018年7月12日	13,729	1.3	105.50	△ 4.6	92.6
	14,063	3.7	109.31	△ 1.2	92.5

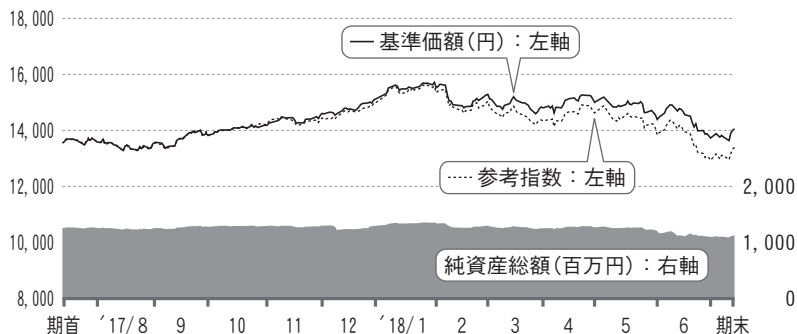
※騰落率は期首比です。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

# 1 運用経過

## ▶ 基準価額等の推移について（2017年7月13日から2018年7月12日まで）

### 基準価額等の推移



期首	13,557円
期末	14,063円
騰落率	+3.7%

※参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

※当ファンドの参考指数は、MSCI東南アジアインデックス（円ベース）です。

※MSCI東南アジアインデックスの著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

## ▶ 基準価額の主な変動要因（2017年7月13日から2018年7月12日まで）

当ファンドは、アセアン加盟国の取引所上場株式に投資しました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

上昇要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・期首から2018年1月下旬にかけ、欧米株式市場の堅調な推移やアセアン経済の回復期待などからアセアン株式市場が上昇したこと</li> <li>・タイバーツ、マレーシアリングgitが対円で上昇したこと</li> </ul>
下落要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2月以降、米国長期金利の上昇や米中の貿易摩擦懸念などを背景に、アセアン株式市場が総じて下落したこと</li> </ul>

## ▶ 投資環境について（2017年7月13日から2018年7月12日まで）

当期のアセアン株式市場はマレーシア、フィリピンが下落する一方、シンガポール、タイ、インドネシア、ベトナムは上昇し、まちまちな動きとなりました。為替市場ではタイバーツ、マレーシアリングgitは対円で上昇したものの、その他の通貨は円に対して下落しました。

### アセアン株式市場

期首から2018年1月下旬にかけては、途中、地政学リスクなどを嫌気し一時的に弱含む局面もあったものの、概ね堅調に推移しました。2月以降は、米国長期金利の上昇をきっかけに世界的に株式市場が調整し、アセアンの多くの市場も調整しました。その後、シンガポール、マレーシアはボックス圏での推移となる一方、タイ、インドネシア、フィリピン市場は下落基調となりました。ベトナム市場だけは、強い経済成長を背景に、4月上旬まで上昇を続けました。4月下旬から期末にかけては、米国の利上げ加速懸念や米中の貿易摩擦の激化懸念などから、アセアン株式市場は軟調に推移しました。

当期の市場の動きをMSCI東南アジアインデックス（現地通貨建て）で見ると、期首に比べて2.9%上昇しました。

### 為替市場

米ドル・円相場は地政学リスクや、米国の利上げや長期金利動向などに左右される展開となりました。期首から2018年1月までは概ね108円～114円のレンジで推移しましたが、2月に、世界的な株価下落に伴うリスク回避的な動きが強まり、3月下旬まで米ドル安・円高が進行しました。4月以降は、米国の利上げ加速懸念や米中の貿易摩擦による中国を含めた新興国経済の減速懸念などを受け、米ドルが堅調であったことから、期末にかけて米ドル高・円安の動きとなりました。

アセアン主要通貨はまちまちな動きとなりました。シンガポールドル・円は、期首82円38銭から期末82円17銭と0円21銭の若干のシンガポールドル安・円高となり、またマレーシアリングgitは、政権交代や原油価格の高止まりが好感され、期首26円47銭から期末27円73銭と1円26銭のマレーシアリングgit高・円安となりました。

## ▶ ポートフォリオについて（2017年7月13日から2018年7月12日まで）

### 株式組入比率

株式組入比率は期を通じて高位を維持しました。

### 国別配分

期首は堅調な経済成長が期待されるベトナム、フィリピン、タイを優位と判断していましたが、期中にインフレ懸念の高まったフィリピンについては、強気姿勢を修正しました。また、2018年7月には、タイの強気姿勢を解消し、ファンダメンタルズ（経済の基礎的諸条件）がより強固なシンガポールを優位と判断しました。

### 個別銘柄

主として、景気回復の恩恵を享受しやすい銘柄を保有し、個別銘柄の業績動向や見通し変更による銘柄入替を行いました。シンガポールやインドネシアでは、銀行の組入比率を引き下げる一

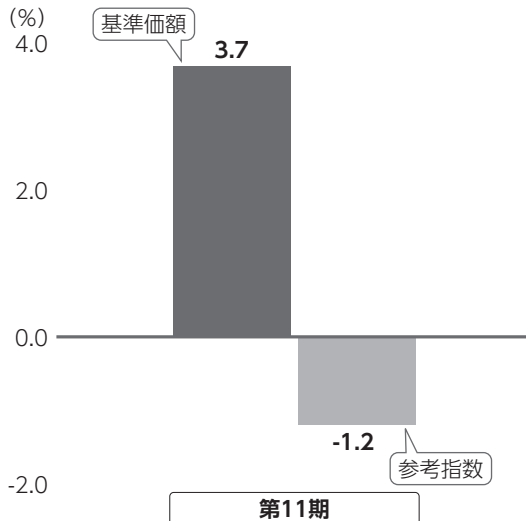
方、特色あるテクノロジー銘柄の組入れを高めました。また、タイでは株価が大幅高になったタイ石油公社（PTT）を一部売却し、自動車部品メーカーのソムブーン・アドバンス・テクノロジーを組み入れました。

### ポートフォリオの特性

競争力、財務健全性、優れたコーポレート・ガバナンス（企業統治）を備えた銘柄を厳選しました。

### ▶ベンチマークとの差異について（2017年7月13日から2018年7月12日まで）

#### 基準価額と参考指数の対比（騰落率）



当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてMSCI東南アジアインデックス（円ベース）を設けています。

左のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

## 2 今後の運用方針

アセアン域内では内需や公共投資の拡大により、経済は引き続き良好な環境が続くと見込んでいます。

多くのアセアン諸国では国際収支は黒字化しており、各国の外貨準備高も安定的に増加しています。また、経常収支の赤字国であるインドネシア、フィリピンにおいても、通貨の下落懸念に対し、予防的な利上げが実施されており、アセアン域内は外的ショックに対する耐性が高まっていると考えられます。

一方、アセアン域内の株式市場のバリュエーション（株価評価）は概ね適正水準にあると判断しており、今後のアセアン株式市場は企業業績の伸びに沿った上昇を見込んでいます。

国別配分では、ベトナム、シンガポールを相対的に優位と判断しています。銘柄選択においては、競争力、財務健全性、優れたコーポレート・ガバナンスを備えた銘柄を厳選いたします。



## アセアンマザーファンド

### ■ 1万口当たりの費用明細 (2017年7月13日から2018年7月12日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 売買委託手数料 (株 式)	48円 ( 48)	0.329% (0.329)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税 (株 式)	14 ( 14)	0.098 (0.098)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	53 ( 53) ( 0)	0.367 (0.367) (0.000)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送入金・資産の移転等に要する費用 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	115	0.794	

期中の平均基準価額は14,468円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。  
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

### ■ 当期中の売買及び取引の状況 (2017年7月13日から2018年7月12日まで)

株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	シンガポール	百株 12,670	千シンガポールドル 2,651	百株 3,910	千シンガポールドル 2,391
	マレーシア	7,900	千マレーシアリングgit 2,613	13,210	千マレーシアリングgit 5,402
	タイ	25,490 ( 2,610)	千タイバーツ 42,143 ( -)	19,745	千タイバーツ 37,654
	フィリピン	33,771 ( 206)	千フィリピンペソ 42,538 ( -)	10,047	千フィリピンペソ 38,146
	インドネシア	11,500 (18,000)	千インドネシアルピア 4,273,386 ( -)	165,192	千インドネシアルピア 26,293,559
	ベトナム	2,960	千ベトナムドン 4,888,731	732	千ベトナムドン 2,587,838

※金額は受渡し代金。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※( )内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。



## ■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2017年7月13日から2018年7月12日まで)

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	1,364,321千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	1,216,264千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	1.12

※単位未満は切捨て。

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末(ただし、決算日の属する月については決算日)のわが国の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

## ■ 利害関係人との取引状況等 (2017年7月13日から2018年7月12日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■ 組入れ資産の明細 (2018年7月12日現在)

外国株式

銘 柄	期首(前期末)		期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額	評 価 額		
	株 数	株 数	外貨建金額	邦貨換算金額		
(シンガポール)	百株	百株	千シンガポールドル	千円		
SINGAPORE TECHNOLOGIES ENG	—	1,300	434	35,678	資本財	
DBS GROUP HOLDINGS LTD	530	260	676	55,568	銀行	
SATS LTD	—	780	402	33,071	運輸	
CAPITALAND LTD	1,300	850	256	21,093	不動産	
HAW PAR CORP LTD	—	370	473	38,885	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
COMFORTDELGRO CORP LTD	1,150	—	—	—	運輸	
UNITED OVERSEAS BANK LTD	130	190	505	41,528	銀行	
VENTURE CORP LTD	—	130	216	17,807	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
SINGAPORE TELECOMMUNICATIONS	1,170	500	163	13,434	電気通信サービス	
OVERSEA-CHINESE BANKING CORP	960	490	555	45,618	銀行	
KEPPEL CORP LTD	270	—	—	—	資本財	
GLOBAL LOGISTIC PROPERTIES LIMITED	500	—	—	—	不動産	
SHENG SIONG GROUP LTD	—	3,900	417	34,289	食品・生活必需品小売り	
JAPFA LTD	—	6,000	402	33,032	食品・飲料・タバコ	
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 <比 率>	6,010 8	14,770 11	4,502 —	370,007 <32.9%>	
(マレーシア)			千マレーシアリンギット			
CIMB GROUP HOLDINGS BERHAD	1,800	—	—	—	銀行	
PARAMOUNT CORP BHD	4,500	3,000	561	15,556	不動産	
TENAGA NASIONAL BHD	630	330	478	13,268	公益事業	
GLOBETRONICS TECHNOLOGY BHD	1,780	—	—	—	半導体・半導体製造装置	

## アセアンマザーファンド

銘柄	株数	期首(前期末)	期末		業種等	
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額		邦貨換算金額
UCHI TECHNOLOGIES BERHAD	—	2,600	743	20,620	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
PUBLIC BANK BERHAD	840	760	1,732	48,050	銀行	
GENTING BHD	573	973	836	23,203	消費者サービス	
PETRONAS CHEMICALS GROUP BHD	1,650	1,200	1,024	28,417	素材	
BERMAZ AUTO BHD	2,400	—	—	—	小売	
小計	株数・金額 銘柄数 <比率>	14,173	8,863	5,377	149,117	
		8	6	—	<13.3%>	
<b>(タイ)</b>			千タイバツ			
SIAM COMMERCIAL BANK PUBLIC CO LTD-NVDR	710	710	8,626	28,985	銀行	
BANGKOK BANK PUBLIC CO LTD-NVDR	485	270	5,292	17,781	銀行	
PTT PUBLIC COMPANY LIMITED- NVDR	400	1,000	4,850	16,296	エネルギー	
DYNASTY CERAMIC PCL-NVDR	16,500	—	—	—	資本財	
SIAM CEMENT PUBLIC CO LTD (THE) -NVDR	280	200	8,480	28,492	素材	
THAI OIL PUBLIC CO LTD-NVDR	—	900	6,930	23,284	エネルギー	
SOMBOON ADVANCE TECHNOLOGY PCL-NVDR	—	4,800	10,944	36,771	自動車・自動車部品	
GLOW ENERGY PLC- NVDR	1,400	950	8,858	29,765	公益事業	
CP ALL PCL-NVDR	540	540	4,252	14,288	食品・生活必需品小売り	
MK RESTAURANTS GROUP-NVDR	—	1,100	8,195	27,535	消費者サービス	
NAMYONG TERMINAL PCL-NVDR	—	18,200	9,191	30,881	運輸	
小計	株数・金額 銘柄数 <比率>	20,315	28,670	75,619	254,082	
		7	10	—	<22.6%>	
<b>(フィリピン)</b>			千フィリピンペソ			
AYALA LAND INC	2,500	—	—	—	不動産	
BANK OF PHILIPPINE ISLANDS	—	550	5,175	10,816	銀行	
DMCI HOLDINGS INC	9,000	10,500	11,550	24,139	資本財	
METROPOLITAN BANK & TRUST	1,022	—	—	—	銀行	
AYALA CORPORATION	—	115	10,787	22,544	各種金融	
VISTA LAND & LIFESCAPES INC	—	25,300	15,255	31,884	不動産	
GT CAPITAL HOLDINGS INC	113	—	—	—	各種金融	
D&L INDUSTRIES INC	6,000	6,100	6,100	12,749	素材	
小計	株数・金額 銘柄数 <比率>	18,635	42,565	48,868	102,134	
		5	5	—	<9.1%>	
<b>(インドネシア)</b>			千インドネシアルピア			
PT GUDANG GARAM TBK	280	—	—	—	食品・飲料・タバコ	
BUKIT ASAM TBK PT	—	5,700	2,319,900	18,095	エネルギー	
PT BANK MANDIRI	1,695	—	—	—	銀行	
PT BANK RAKYAT	4,420	15,000	4,485,000	34,983	銀行	
PT BANK CENTRAL ASIA TBK	3,350	2,350	5,246,375	40,921	銀行	
JASA MARGA(PERSERO)TBK PT	3,697	—	—	—	運輸	
BUMI SERPONG DAMAI PT	13,000	—	—	—	不動産	
ADARO ENERGY TBK PT	—	10,000	1,900,000	14,820	エネルギー	

## アセアンマザーファンド

銘柄		期首(前期末)		期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
PT ASTRA INTERNATIONAL TBK		5,620	—	—	—	自動車・自動車部品
TELEKOMUNIKASI TBK PT		16,680	—	—	—	電気通信サービス
PURADELTA LESTARI TBK PT		120,000	—	—	—	不動産
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 <比 率>	168,742 9	33,050 4	13,951,275 —	108,819 < 9.7%>	
(ベトナム)				千ベトナムドン		
VIETNAM DAIRY PRODUCTS JSC		232	240	4,008,000	19,639	食品・飲料・タバコ
PETROVIETNAM TRANSPORTATION CORPORATION		—	2,400	3,672,000	17,992	エネルギー
JSC BANK FOR FOREIGN TRADE		920	740	3,788,800	18,565	銀行
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 <比 率>	1,152 2	3,380 3	11,468,800 —	56,197 < 5.0%>	
合 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 <比 率>	229,028 39	131,298 39	— —	1,040,359 <92.5%>	

※邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※一印は組入れなし。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

## ■ 投資信託財産の構成

(2018年7月12日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円	%
	1,040,359	91.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	97,712	8.6
投 資 信 託 財 産 総 額	1,138,071	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※期末における外貨建資産（1,125,139千円）の投資信託財産総額（1,138,071千円）に対する比率は98.9%です。

※外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1米ドル=112.18円、1シンガポールドル=82.17円、1マレーシアリングギット=27.73円、1タイバーツ=3.36円、1フィリピンペソ=2.09円、100インドネシアルピア=0.78円、100ベトナムドン=0.49円です。

## ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2018年7月12日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	1,193,127,847円
コール・ローン等	82,440,962
株 式(評価額)	1,040,359,302
未 収 入 金	69,807,424
未 収 配 当 金	520,159
(B) 負 債	67,879,058
未 払 金	67,878,895
そ の 他 未 払 費 用	163
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	1,125,248,789
元 本	800,149,951
次 期 繰 越 損 益 金	325,098,838
(D) 受 益 権 総 口 数	800,149,951口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,063円

※当期における期首元本額925,837,444円、期中追加設定元本額64,144,824円、期中一部解約元本額189,832,317円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は、アセアン成長国株ファンド800,149,951円です。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■ お知らせ

### <約款変更について>

- ・スミトモ ミツイ アセットマネジメント(ホンコン) リミテッドからの助言を運用委託へ変更することに伴い信託約款に所要の変更を行いました。(適用日:2017年11月9日)
- ・受益者に対してする公告を電子公告の方法によるものとするため、所要の変更を行いました。(適用日:2018年2月1日)
- ・一般社団法人投資信託協会規則の「信用リスク集中回避のための投資制限」に適合するよう、所要の変更を行いました。(適用日:2018年3月9日)

## ■ 損益の状況

(自2017年7月13日 至2018年7月12日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	41,890,490円
受 取 配 当 金	41,895,957
支 払 利 息	△ 5,467
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	14,571,098
売 買 益	144,511,254
売 買 損	△129,940,156
(C) 信 託 報 酬 等	△ 4,637,028
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	51,824,560
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	329,356,785
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	30,855,176
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 86,937,683
(H) 計 (D+E+F+G)	325,098,838
次 期 繰 越 損 益 金(H)	325,098,838

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、保管費用等を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

※当ファンドの運用の指図にかかる権限の一部委託に要する費用は4,316,974円です。(2017年11月9日~2018年7月12日、当社計算値)